

## 衛星重力ミッションで捉えられない海洋変動の見分け方

How to identify oceanographic variations undetectable in the satellite gravity missions.

# 市川 香[1]; 広瀬 直毅[2]; 青木 茂[3]

# Kaoru Ichikawa[1]; Naoki Hirose[2]; Shigeru Aoki[3]

[1] 九大・応力研; [2] 九大・応力研・DSRC; [3] 極地研

[1] RIAM, Kyushu Univ; [2] DSRC, RIAM, Kyushu U; [3] NIPR

衛星重力ミッションでは、重力場の変動を詳細に計測することで、固体地球・大気・海洋・雪氷などの質量移動を検出することが期待されている。なかでも海洋は、大気に比べて質量が大きく、固体地球に比べてよく変動するため、衛星重力ミッションで変動がよく捉えられると期待されている。

ただし、海洋の変動のうちの多くは、海洋上層部に集中しており、海洋の密度構造の持つ傾圧性のために、海底付近での圧力変動（すなわち質量変動）はあまり大きくない。海底付近での圧力変動は、海面から海底まで同じ傾圧成分と呼ばれる流れと、海底付近の深層流に關与してゐる。これらの現象の時間・空間スケールを考へて、これまで知られてゐる海洋変動が、衛星重力ミッションで捉えられるかどうかを分類してゐく。さらに、衛星重力ミッションによつて新たに見つかる海洋の変動の有無についても検討してゐく。